

雄琴自治会自主防災組織について

☆ 防犯対策の基本・・・3つの柱

- ①自助：1人一人が自分で身を守る。
- ②共助：みんなで助け合う。
- ③公助：行政の助け

☆ 自主防災組織の役割

被害発生直後、被害の拡大を防ぐためには個人や家族の力（自助）だけで対応できないことが想定され、また、行政の支援（公助）はすぐには期待できず、支援には限界もあります。このため、隣近所が集まって互いに協力（共助）しながら組織的に防災活動に取り組むことが重要であり不可欠であり、雄琴自治会では、災害時に共助の防災活動を円滑・効果的に行えるよう、「隣近所」である組単位を基礎的な単位とする「雄琴自治会自主防災組織」を設置することとしています。

構成： 本部 — 各組

☆ 自主防災組織に期待される活動

平時の活動

〈各組〉 いつでも気軽に話ができる関係づくり。「face to face」の付き合い。

〈本部〉

- (1) 地域内の安全点検
 - ・ 防災資機材の点検と整備（消火器、消火栓の点検、防災備品の整備）
 - ・ 地域に潜む危険の把握（地形・地質等の地理的条件 など）
 - ・ 地域の要支援者等の弱者把握、声掛け
 - ・ 生活必需品の取扱店舗、社会福祉施設など救援が要請できる先の把握
- (2) 防災知識の普及・啓発
 - ・ 「自助」についての啓発（家庭での備蓄、耐震対策）
- (3) 防災訓練の実施
 - ・ 想定をイメージした訓練

災害発生時の活動

〈各組〉 (1) 隣近所の状況確認

(2) 初期消火

(3) 被災者の救出・救護

(4) 本部への連絡、応援要請

〈本部〉 (1) 情報の収集、学区自主防災組織との連携、行政への連絡

(2) 初期消火

(3) 被災者のn救出・救護

(4) 避難誘導（地域避難所など安全な場所へ）

(5) 地域避難所の運営

【地震発生時の対応】

別紙・・・地震発生後の対応を時系列で整理